

## 第6次富士見町男女共同参画計画

# すずらんVI パートナーシップふじみ

概要版

2023~2027年度



この計画は、町民一人ひとりが互いに尊重しあい、性別にとらわれずに個性と能力を発揮でき、多様な生き方が選べる町づくりのために、これから取り組むことを定めたものです。

富士見町の現状をもとに、2023年度から2027年度までの5年間で、特に力を入れていくべきことを示しています。

計画を進めるのは富士見町役場ですが、その理想の実現のためには、地域の企業やさまざまな団体、そして町民一人ひとりが同じ理想に向かうことが大切です。

### <この計画の期間>

2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)	2025年度 (令和7)	2026年度 (令和8)	2027年度 (令和9)	2028年度 (令和10)
本計画の期間					
					次期計画

令和5年3月  
富士見町

## 男女共同参画って？



性別によらず、だれもが対等の権利と責任を持ち、利益を享受できる社会を目指すのが「男女共同参画」の考え方です。1999年に制定された「男女共同参画社会基本法」では、この考えのもとに社会をつくっていくことが定められています。

5 ジェンダー平等を実現しよう

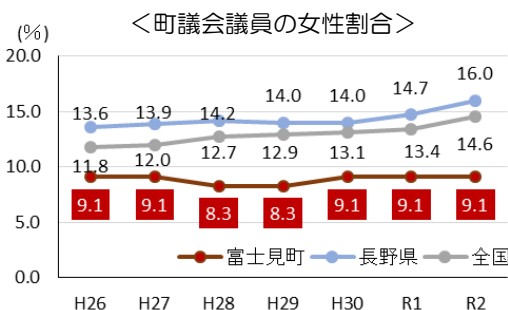


たとえば「ジェンダー・ギャップ」という言葉をご存じでしょうか。ジェンダーとは社会的・文化的につくられる性別のことで、「男だから」「女だから」といった考えで生きる選択肢が偏るといったギャップを指します。2015年に国連で採択された「SDGs」の目標のひとつにも、このギャップを解消する「ジェンダー平等」があります。

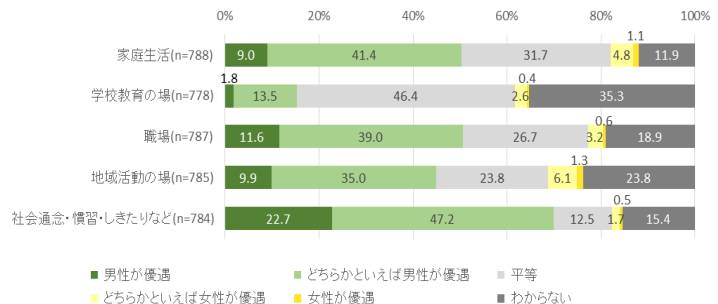
近年ではだれもが住みやすい環境づくりのためにジェンダー平等に積極的な自治体も増えており、魅力的な地域であるために大切な理念だといえます。

## 富士見町の現状と課題

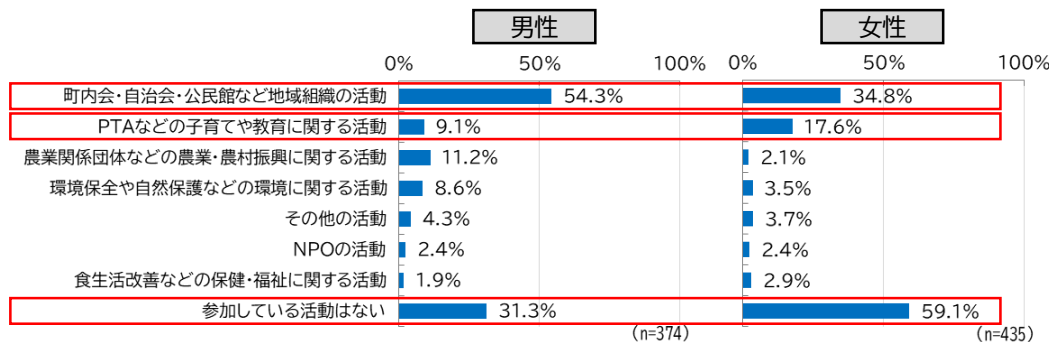
では富士見町の現状はどうでしょうか。町議会議員の女性割合は9.1%で全国・全県平均を下回っています。また住民意識調査の結果からは、家庭生活、職場、地域活動の場、社会通念など様々な場面で「男性が優遇されている」という声が多くなっています。



＜男女が平等と思うか（2022年富士見町住民意識調査より）＞



＜参加している地域活動（2022年富士見町住民意識調査より）＞



地域活動をもみても、男性と女性とでは活動内容に偏りがあり、「参加している活動はない」という回答では女性の割合が男性の倍近くにのぼるなど、活動のしやすさなどの環境に性別のギャップがあることがうかがえます。

議会のような意志決定の場、そして家庭・職場・地域活動など日々の暮らしの中で、まだ十分に「男女共同参画」の理念が浸透していないという課題がうかがえます。

## 目指す姿

求められるジェンダー・ギャップの解消や、そこでの地域課題を踏まえ、富士見町では以下の状態を目指して「男女共同参画」を進めていきます。また、このために3つの「基本目標」を定め、その実現を図ります。

性別で機会・役割が固定化されることのない  
だれにとっても暮らしやすい地域



## 基本目標Ⅰ 暮らしにおける男女共同意識の浸透



性別によって選択肢や役割が規定されることのないよう、そうした格差に多くの住民が気づけるよう意識啓発に継続して取り組みます。

性別による不平等や不均衡は、それを被っている立場だけが気づいている状況生まれやすく、また若者と年配者との間に意識のギャップが生じていることも推測されるため、できるだけ実際の意識・行動の変化につながるよう努めます。

### 施策1 日常の暮らしにおける不均衡・不平等への気づきの促し

家庭・職場・地域活動など暮らしの中の具体的な場面について、現状でどのような問題（不均衡・不平等）があるのかについての気づきを促すために、様々なツールや機会を提供します。

### 施策2 教育を通じた男女共同意識の浸透

保育園、小中学校などでジェンダー平等の教育に取り組みます。あわせて教職員や保護者などへの研修・啓発も進め、幅広い世代への男女共同意識の浸透を図ります。

### 施策3 地域全体としてのジェンダー平等意識の醸成

世代間交流イベントや講演会、各種啓発ツールなどによって、地域全体に働きかけ、住民一人ひとりがジェンダー平等の意識をもてるよう努めます。

## 基本目標Ⅱ だれもが参画しやすい社会のしくみづくり



政治、仕事、地域活動などの様々な社会活動で、性別によって参加しやすい・しにくいといった格差が生じないようにくみを改善したり、意思決定の場における男女差の是正を図ります。



このことでだれもにとって住みやすく、魅力的な地域づくりを進めるとともに、一度外に出た住民の帰還や他地域に住んでいた人の移住の促進・定着（Fターンの推進）にもつなげます。

### 施策1 意志決定の場への女性参画の拡大

政治や地域活動などで意志決定が行われる場での女性割合や、職場での女性管理職の割合を増やすよう努めます。

### 施策2 性別を問わず社会で活躍しやすい環境づくり

仕事と家庭（家事、子育て、介護など）が両立しやすいように、働く環境の改善を働きかけたり、そのための各種支援を手厚くします。

## 基本目標Ⅲ だれもが安全・安心に暮らせる環境づくり



新型コロナウイルスの感染拡大、激甚化する自然災害、貧困や暴力などの負の影響が、特定の性別や、社会的に弱い立場に追いやられている人々に偏ることのないよう、防犯・防災やセーフティネットの整備に努めます。

### 施策1 だれもが健康で過ごせるための支援

性によらず健康でいられるよう、出産や子育てなど必要な支援を充実させます。

### 施策2 男女共同視点での防災

防災の取り組みに男女共同の視点をできるだけ反映し、偏りをなくします。

### 施策3 暴力の根絶

暴力・ハラスメント行為の根絶のため意識啓発や被害者支援に取り組みます。

### 施策4 貧困など生活上の困難への支援

様々な要因で生きる困難を抱える人への支援体制を整え、その周知に努めます。

<お問い合わせ先>

富士見町 富士見町役場 生涯学習課 生涯学習係

TEL : 0266-62-7900 E-mail : syougaku@town.fujimi.nagano.jp